



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

掲示板法話

「他人事ではない。お前が目当て」と

南無阿弥陀仏

「八月や六日九日十五日」という俳句があります。どなたの句か知らず恐縮ですが、日本人なら意味は分かります。広島に原爆が投下されたのが、六日、長崎が九日、そして十五日が終戦の日です。

無謀な戦争の結果もたらされた悲劇を二度と繰り返さぬよう、仏前に詣でて唯々慚愧しつつお念仏申さずにおられません。

戦争というと我々庶民のどうにもできぬ世界の事と思ってしまします。他方、親殺し、子供殺し、虐待などの事件には、およそ人間のやることか、と驚かされますね。

この驚きこそ大事、仏さまのお働きによるものなのです。

「仏さまとはどのようなお方ですか?」とアインシュタイン博士から尋ねられた、当時の仏教学者・近角常観博士は、「姥捨て山」の話で答えたという。「姥捨て山」とは、山国では飢饉の時、老いて働けなくなった親を山に捨てる、という話です。

ある息子が老いた母を背負って山へ



入っていく。途中、母は木の枝を折って道に木の枝を落とします。息子は、心の中で「母は村へ帰ろうと思つて、目印に木の枝を落としているのだ」と疑いました。やがて、深い山中に母を下ろして帰ろうとした時、母は息子に言いました。「お前が、道に迷わんように木の枝を落としておいた。目印にすれば帰れるじゃろう。気を付けて帰っておくれ」と合掌し、別れを告げた。

その言葉を聞き、息子は泣きました。「何と恐ろしいことを自分は考えていたのか? 殺されようとしているのに、母は最期まで自分のことを心配してくれていたのか」。息子は母に、手をついて謝り、母を背負って山を降りて行った、という哀話です。

近角師は「この母親の姿こそ仏さまの姿です。自分の事より、息子が無事に帰りつくことだけを心配する。それが仏の心です」と話された。涙をたたえてこの話を聞いたアインシュタイン博士は、帰国に際し「日本人がこのように温かい、深い宗教を持っていることはこの上もなく幸せなことです。日本に

来て、こんな素晴らしい教えに出遇うことができたことは何物にも勝ることでした」と述べられたそうです。百年も前のエピソードですが、如何でしょうか?

親殺し、子殺しあり、葬儀もなしで直葬、遺骨の処分(?)にあれこれ策をめぐらして恥じるころもない……。この荒涼たる人間砂漠にも、仏さまの大慈大悲の心が注がれています。

「他人事ではないぞ、お前が目当て」と仏さまが喚んでおられます。

「大慈大悲の喚び声こそ、南無阿弥陀仏」。お盆の季節、日ごろの忘恩を慚愧する仏縁です。



☆行事ご案内☆

盂蘭盆会(うらぼんえ)法要

8月15日(火)午前8時半より

在所のご門徒様、納骨堂利用者、有縁の方々等
 家族揃ってお参り下さい。正信偈、焼香、法話等



秋季永代経法要

9月23(土)24(日)両日午後1時半

講師:九条孝義先生(滋賀、2回目)

お経開きは初日の午前10時半(関係者招待)
 猛暑の為例年のお盆過ぎから開催1ヶ月後に移動
 夕方5時の鐘撞き年中無休、誰でも可、ご褒美有
 善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索、30年間
 毎月発行、過去数年分の寺報がHP上で閲覧可、
 毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」大好評、
 開設15年で41万2千訪問、お悩み相談可、即返信
 一線会テレホン法話TEL059-354-1454三重組5か寺
 が週替わりで3分法話38年の歴史、法話集多数
 納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方相談下さい
 法事場所お困りの方、本堂使用可。日時ご相談を!

☆ 写真アラカルト ☆



ぼうもり 坊守スケッチ

『抹茶サロン&歌会』の反響続々



先月、三全仏婦主催の『抹茶deまつたりサロン&歌会』を初開催しました。約六〇名の二参加を頂き感謝しています。仏婦会員は三分の一、他はお寺とは今まで縁が少くない人が大半でした。これは喜ぶべきことなのか、伝統行事を踏襲するだけの在り方を反省するべきかを考えさせられました。

新しいことにチャレンジすることは勇氣が要り、大きな不安で一杯です。3月の総会で茶道の先生にお願いし、4月から募集したものの、一向に集まりません。6月に再度案内状を出して、第2部に歌の会も追加開催することにしたなら、口コミでたちまち大勢の参加者が集まりました。

先ず60名のお茶会の場所と方法はどうしようと思案しました。結局お茶会は庫裏4間を開け広げて、テーブルと椅子席の4人一組で、自ら抹茶を点てて味わう体験茶会方式に決定しました。当日は先生よりお茶の頂き方や言葉使い、茶筌で細かい泡の立て方、マスクを懐紙に包んでしまう方法等を教わりました。茶菓子は3色の紫陽花で、季節感に溢れ美味しかったです。床の間の軸は「洗心甘露水」という江戸末期広上人の直筆で「私の煩惱が仏様のお慈悲の水で洗い流される」という意味を紹介。七高僧の一人善導

大師のお言葉で、お茶会の席には相應しい掛け軸だと説明しました。

続いて本堂へ移動して、トライアングルのギターとマンドリンの演奏で、大画面を見ながら全員が懐かしい歌を声高らかに歌います。普段家に引き籠りがちな人々も若い頃を思い出して、一体感を感じながら歌いました。初めてお寺の門をくぐった人から「今日は何だか心に溜まっていた重荷がスーッと消えたような気がします」と嬉しい感想を言って下さいました。

コロナで誰とも会わず、会話せず、寂しい日々送っていた方々に、お抹茶でまったりした時間を過ごして頂き、歌会で共に声高らかに歌い、解放感を感じて頂ければ、幸いです。

カンパありがとう

若松重子様、柴田美津代様、森本様、他匿名様有難うございました。

ホットニュース

※6月28日の『抹茶&歌声サロン』には60名の方がご参加下さいました。三全仏婦の初企画でしたが、多数の皆様のご協力に感謝申し上げます。

※孟蘭盆会法要8月15日午前8時半、有縁の方はご家族でお参り下さい。

若坊守カレンダーNo.103

六月末開催の「抹茶deまつたりサロン」&「トライアングル歌の会」では、久しぶりに多くの方で庫裏も本堂もいっぱいになりました。お茶席では堅苦しさ抜きでお菓子とお抹茶を楽しむひと時でした。それもご指導頂いた中川宗津先生のお人柄ゆえだと感謝しています。また参加して頂いた皆様もありがとうございました。

今や世界共通語ともなった「おもてなし」は、茶道の作法と精神が源流といわれています。お道具の組み合わせ、用意するお菓子、季節のお花を飾る、どの掛け軸を飾るか、お客様の顔を思い浮かべながら準備をするそうです。

私は寺族になってから、沢山の方をお迎えする立場になりましたが、初対面で私より年配の方との会話は難しく、顔と名前を覚えるので精一杯でした。それでも茶道の「おもてなし」精神には到底及びませんが、少しでもお寺が身近で心安らぐ居場所になって欲しいとお接待させてもらっています。

日本の伝統文化継承のため、様々なことに挑戦している茶道の世界に、お寺も学ぶことが沢山ありそうだなと改めて魅力を感じた一日でした。



お悔み申し上げます

★船山守機(7月4日往生・84歳、小杉)合掌

俳壇

紫陽花寺抹茶の緑美しき 釋妙水
美しき和菓子は紫陽花抹茶サロン
グラジオラス懐メロ響く本堂に
梅雨一日ジンジン痛む骨の中 釋榮邦
一歩づつ我が身を重ねカタツムリ
初訪うや浴衣のかかる孫の部屋
新緑やほほえむ友の片えくぼ 釋住安
春の空梯子に立ちて枝を切る
チューリップ一片かけて咲きにけり
お茶会の寺友を待つ夏座敷 釋普教
本堂に響動もす歌声風光る
大寺の楠の走り根夏さざす
散髪を終え薫風の帰り道 釋秀龍
夏の夜うどんの出汁の匂いけり
夏のタナップサックのしつけぬい
越前の狛下拝謁風薫る 釋清風
父の日の父たることを賞でらるる
夏座敷軸装かへて人を待つ

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」356号をお届けします。◇豪雨あり、猛暑、酷暑の夏。この夏を乗り越えるのは大変だなあと思う。心身の健康を保つにはどうしたらいいのか?◇規則正しい生活習慣と、生かされて生きる感謝を胸に、自分なりの「目標」を以て生きることです。◇終戦の日、お盆を迎える季節、朝夕の礼拝こそ、心身の健康の基です。

先月垂坂山北入り口付近で火事がありました。出火元の男性
65が自宅に灯油を撒いて火を点けたと自首しました。幸い
類焼や怪我人はいませんが、他人の迷惑を顧りみない
独りよがりな犯行です。男性は一人暮らしで近所付き合
いはありません。また18歳の自衛隊候補生が銃乱射事件
で3人を死傷させた事件も身勝手な犯行でした。最近では
常識では考えられない事件が頻発し深い憤りを覚えま
す。原因の一つは家庭崩壊、子供時分きちんと愛情や躾
を受けずに育ち、社会や学校と調和できないまま孤独の
壁を作ります。最近では離れて住む子供やご近所とは交流
が無いが可愛がっているペットには、愛情を注ぐ高齢者も大
勢います。リビングと一緒に住み親身になつてお世話をし
ます。経済的出費は大変ですが、苦にならないのは家族
以上に癒されるからでしょう。ペットは飼い主の性格に似ま
す。穏やかな飼い主ならば、ペットも落ち着いた性格です。
やはり人間の子育ても環境と親の育て方が大きく左右し
ます。かつてご先祖が大事にされてきた葬儀や法事が簡
素化されて、業者の価格競争に流されがちです。若い人
はネットで調べれば大丈夫と思いきや、益々人付き合いが苦手
になりました。その場限りの情報は得られませんが、ご先
祖が大事にされたご縁の系は切れ、大事に教えるは伝わり
ません。8月15日の盂蘭盆会法要で、ご先祖が伝えた
かった仏様の教えを私の心に問い返してみよう。皆様
のご参詣をお待ち申し上げます。合掌

令和五年八月 善正寺坊守 拝